



平成29年度第1回新潟支部研修会が開催されました

平成29年7月29日（土）午後1時より新潟大学医歯学総合病院12階大会議室にて平成29年度第1回新潟支部研修会が開催されました。今回は新たに選出された新潟支部幹事による初めての研修会でしたが、参加者69名と沢山の方々にお越しいただきました。

講演1『日当直時における緊急検査の異常値・パニック値への対応』と題し、第1部・一般検査分野は済生会第二病院 西江良介技師より、尿検査の異常検体のピットフォールと解決法、見た目の変化と考えられる原因、主な偽反応と確認法、パニック値の一例、髄液検査では髄膜炎の可能性が高い所見について、血液検査分野は木戸病院の味方憲人技師より、血算・凝固の中でも特に注目すべき項目やその異常値と疾患との関連性について、細菌検査分野は信楽園病院 田端篤技師より、検体採取と検体処理の一般的注意事項、感染症迅速検査の多様化、グラム染色、最後に実体験を基にした異常値報告症例についてご講演いただきました。



西江 良介 技師



味方 憲人 技師



田端 篤 技師

第2部・臨床化学分野は新潟大学医歯学総合病院 高橋佳菜子技師より、検査値が出るまでの過程と測定が正しく行われたかを判断するには、異常値への対応方法や事例、関連性のある項目間でのチェックについて、生理検査分野は厚生連新潟医療センター 三富圭技師より心電図の基礎を学び、しばらく様子を見るので良いのか、主治医に連絡が必要か、緊急対応が必要なのか、心電図判読の的確な判断についてご講演いただきました。



高橋 佳菜子 技師



三富 圭 技師

講演2『安全な採血業務』では、新潟大学医歯学総合病院 医療安全管理部 専任リスクマネージャー 佐竹紀代美先生にご講演いただきました。静脈採血の手順において患者様確認から始まり、導線、血管の選択、止血まで患者様も医療従事者も安全であるためのポイントをご講演いただきました。また、採血合併症で神経損傷・血管迷走神経反射などをおこした場合、医師や応急処置担当者が直ぐに対応できるように緊急時の体制を整えておくことも重要とのことでした。



佐竹 紀代美 先生

講師の方々のお話もとてもわかりやすく非常に充実した講演内容でしたので、新しい学びとしても知識の再確認としても実りある時間だったと思います。参加された皆様にとって、今回得た知識を次の当直時や日常業務の場で活かしていただければ幸いです。

最後になりますが、お忙しい中、快く講師を引き受けてくださいました先生方には、この場を借りて厚くお礼申し上げます。当日参加いただいた皆様、実務委員に当たられた新潟支部幹事の皆様、大変お疲れ様でした。

文責 木戸病院 神林

